



特集 「複業アドバイザー」  
就任しました

Otoineppu public relations magazine  
森とともに一人ひとりの匠が活躍する村

広報  
おといねっぷ  
no.594

2024 3  
令和6



令和2年度よりスタートした「都市圏学生交流推進事業」では、都市圏の大学生と地方に住む村民が、「距離」というハンドルを乗り越え、協働してまちづくりに挑戦するという、今までない取り組みを進めてきました。すでに本事業をきっかけに、ICT利活用、「関係人口」をはじめとした地域内外の新たなつながりづくり、村民が主役となるまちづくり活動の展開など、新たな展開にも繋がっています。

次ステップに進めていくためにも、本事業の定量的・定性的評価を行うとともに、次の展開における事業構想に必要な地域の強み・課題の整理等、民間視点を取り入れながら進めていく予定です。

本事業は、目に見えにく

い複雑な取り組みが絡み合っている一方で、道外から首長が観察に来るなど、先進性や注目度が高いことから、高度な分析評価知見が求められます。このことから、企業での事業評価の経験等を評価し、1名を雇用しました。

- ☆主な取り組み
- ・都市圏学生交流推進事業の定量的、定性的評価の基準構築支援
- ・次期事業展開へのアドバイス・伴走

## 「複業クラウド」って、何？

「複業クラウド」とは、専門人材の登用を検討している企業・自治体・団体と、複業に取り組みたい人材をマッチングさせるサービスで、(株)Another Worksが運営しています。企業向けの「複業クラウド」のほか、今回、本村で活用した、自治体向けの「複業クラウド for Public」や、教育機関向けの「複業クラウド for Academy」などが展開されています。

サービスの活用および複業人材の就任に先立って、1月15日に(株)Another Worksと本村との間で包括連携協定を締結しており、民間複業人材の活用について、「実証実験」として8月末まで無償で行うこととなっています。



**【プロフィール】**  
現職では新規事業開発や既存事業の拡張などを検討している大手事業会社様に向けて、各業界・領域のエキスパートの方々をご紹介し、その知識を得て頂くことで意思決定をサポートする事業に従事。その中で、主に戦略コンサル出身の方々をアサインし、各種プロジェクトを推進する

**【コメント】**  
過去から得た経験を活かして地方・地域活性化に貢献したいという想いから複業アドバイザーに応募させて頂きました。正直なところ今回の機会を頂くまでは音威子府村

PMO業務の役割を担う。副業で企業向けのコンサルティングと並行して物販の実業も行っている。この可能性を最大限に活かし、地域コミュニティをより一層さらに活性化していくよう伴走して参ります。

**アドバイザー**  
**白井 達也**



## リサイクル推進に関する連携協定を締結しました

3月4日(月)、使用済みペットボトルのリサイクルを推進するため、音威子府村・名寄市・美深町・下川町、サントリーリーグループ及び株式会社もつかいトラストと、ペットボトル水平リサイクル「ボトルtoボトル」(以下、「ボトルtoボトル」)に関する連携協定を締結しました。

イクルでは、ペットボトルのほとんどが衣類等繊維や卵パックの原材料に再生されており、再びペットボトルに再生される割合は29%ほどしかありません。一度、ペットボトル以外のものにリサイクルされた製品は、再びペットボトルに戻ることができず、新しくペットボトルを作る際に、原材料となる石油が多く使われるとともに多くの二酸化炭素が発生して

「ボトルtoボトル」つとは、使用済みペットボトルを新たなペットボトルに再生することです。「ボトルtoボトル」では、使用済みペットボトルを資源としてリサイクルし続けることが可能になるだけでなく、化石由来原料から新たにペットボトルを製造する場合と比べて、新たなペットボトルに生まれ変わるため

には、皆さまが家庭から排出するペットボトルをきれいな状態で出しあげます。環境にやさしいまちづくりに向け、ご協力をよろしくお願いします。

60%削減することができ、循環型社会の実現に貢献する事業となっています。

**○ペットボトルは、分別をして、きれいな状態で出してください**

本村を含む4市町村での「ボトルtoボトル」の取り組みは、4月1日から始まります。「ボトルtoボトル」において、新たなペットボトルに生まれ変わるため

には、皆さまが家庭から排出

## 札幌・大阪でも、地域を PR ! ほっかいどう応援セミナー

昨年11月に東京会場で行われました「ほっかいどう応援セミナー」に引き続き、1月31日(火)に札幌会場、2月14日(水)には大阪会場にて同セミナーが開催(主催:北海道)され、それぞれ100名を超える企業・団体関係者に、遠藤村長より本村の企業版ふるさと納税に関するプレゼンテーションを行いました。多くの企業に関心をお持ちいただき、納税のみならず企業連携にも新たな動きが出始めています。



## それが、新たな道へ、、、 おと高卒業式

3月1日(金)、おといねっぷ美術工芸高校の卒業証書授与式が行われ、3年生36名に対して、卒業証書が授与されました。3年間、音威子府で苦楽を共にした卒業生たちは、それぞれのステージに向かって旅立ちました。



## 子どもたちの成長を願って、、、 チーズをご寄贈いただきました

2月6日(火)に、北はるか酪農振興協議会様より、教育委員会へ「さけるチーズ」52本をご寄贈頂きました。この取り組みは、地域の子どもたちの健やかな成長と、生乳・乳製品の消費拡大を目的としたもので、頂いたチーズは、幼児センターや小中学校にて活用させて頂きました。



## 柔らかな光にあふれる、暖かな夜 北星信金アイスキャンドル

2月9日(金)、北星信用金庫音威子府支店駐車場にて、アイスキャンドルが灯されました。準備にあたっては、今回初めておと高生有志7名と信金職員が協働して、90分かけて自動車の形の土台を制作しました。高橋支店長は、「おと高生との制作にあたって、地域の方から飲み物の差し入れをいただくなど、これまでに無い取り組みになりました」と話されていました。



## 「ふわ」な3人で創る世界 おと高生有志による「ふわ展」

2月26日(月)から3月11日(月)、交通ターミナル多目的スペースにて、おと高1年生の浅野ゆいかさん、荒関星奈さん、石川沙佳さんによるグループ展「ふわ展」が開催されました。主催した3名は、「展示コンセプトは『不和』で、よく喧嘩をする3人で企画しました。バラバラでも上手くいく、上手くかみ合う部分を見て欲しい」と話されていました。



# 保健福祉センターだより

## 3月は「自殺対策強化月間」です

自殺対策基本法では、3月を「自殺対策強化月間」と位置付けており、「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現に向けて相談事業や啓発活動を集中的に実施しています。

### 最近、心の調子はどうですか？

春は身近な人の引っ越し、異動や転勤、進学など生活環境の変化が大きく、不安やストレスを感じる人も多いのではないでしょうか。こころの不調やストレスを溜め込みすぎたり我慢しすぎると、不眠や食欲不振などの体の症状として現れたり、気分の落ち込みやイライラを感じることが増えていくようになります。人に会いたくない、遅刻や欠勤が増えるといった生活面の変化に現れることがあります。この状態が続くと、心や体の病気になってしまったり、自傷行為や自殺に追い込まれる人もいることから、こころの不調に早く気付くこと、早めに対処することが大切です。

### 心が疲れたな、と感じたら

#### ♡心と体の休息をとりましょう

疲れているときこそ睡眠をしっかりとすることを意識して。生活リズムを整えることも大切。



#### ♡自分なりの気分転換をしましょう

趣味や楽しみにしていることに取り組んでリフレッシュする。ウォーキングやストレッチなど軽めの運動もおすすめ。



#### ♡誰かに話してみましょう

日頃から悩みを相談できる人や場所をもっておく。こころの不調が長引くようなら病院や専門機関に相談。



身近な人の様子が「おかしい」と感じることはありますか？

### ～誰でも“ゲートキーパー”になることができます～

“ゲートキーパー”とは「命の門番」という意味で用いられ、悩んでいる人に気づき、声をかけてあげられる人のことです。特別な研修や資格は必要ありません。

周りに悩んでいる人がいたら、優しく声をかけてあげてください。声をかけあうことで、不安や悩みを少しでも和らげることができるかもしれません。



### 最近、こころの調子はどうですか？

こころの状態で気になることがあれば、専門の窓口に相談してみませんか？ご本人やご家族、関係する方々など誰でも利用できます。また、保健福祉センターでも、保健師等がこころやからだの相談をお受けします。

窓口	電話番号	備考	窓口	電話番号	備考
北海道いのちの電話	011-231-4343	毎日 24 時間	名寄保健所 精神保健相談	01654-3-3121	・委託医による相談：奇数月第2水曜日（予約制） ・保健師による相談：随時 ※平日 8:45 ~ 17:30
こころの電話相談	0570-064-556	平日 9:00 ~ 21:00 土日祝 10:00 ~ 16:00	北海道こころの健康 SNS 相談窓口		※ LINE アカウント
北海道立精神保健福祉センター	011-864-700	平日 8:45 ~ 17:30			

問 保健福祉センター（住民課保健福祉室） ☎ 9-3050 ※平日 8:30 ~ 17:15

健康・福祉に関するさまざまな情報をお伝えします



### 年金の予約相談を実施しています

日本年金機構では、安心して利用しやすい相談環境を整え、お客様サービス向上を図る取り組みの一環として「予約による年金相談」を実施しています。予約相談によって待ち時間と相談時間が短縮され、スムーズに相談できるとともに、スタッフが事前に準備できるため、より丁寧に対応できます。ご予約は基礎年金番号がわかるもの（基礎年金番号通知書、年金手帳など）をご準備ください。



旭川年金事務所の相談の実施時間帯は、月曜から金曜日の午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分まで、第 2 土曜日の午前 9 時 30 分から午後 4 時 00 分まで等になっています。また、個人のお客様の相談は、全国どこの年金事務所でもお受けできます。

【所在地】 ☎ 070-8505 旭川市宮下通 2-1954-2

【アクセス】

- ・JR 旭川駅下車 徒歩 15 分
- ・旭川電気軌道、道北バス「1 条 2 丁目停留所」下車 徒歩 3 分



問 日本年金機構旭川年金事務所

☎ 0166-25-5606

問 ねんきんダイヤル（加入者相談）

☎ 0570-05-1165

問 住民課住民生活室住民係

☎ 5-3312



### 旧優生保護法に関する一時金支給について

「旧優生保護法に基づく優生手術を受けた者に対する一時金の支給等に関する法律」が平成 31 年 4 月 24 日に施行されました。

この法に基づき、優生手術などを受けた方に、一時金が支給されます。請求期限は、令和 6 年 4 月 23 日までです。一時金の支給を希望される方は、「旧優生保護法に関する相談支援センター」にてご案内いたしますので、ご連絡ください。

#### ◇対象となる方

以下の 1 または 2 に該当する方で、現在生存されている方が対象となります。

- |   |   |
|---|---|
| 1 | 昭和 23 年 9 月 11 日から平成 8 年 9 月 25 日までの間に、旧優生保護法に基づき優生手術（生殖を不能にする手術）を受けた方<br>※母体保護のみを理由として手術を受けられた方は除きます |
| 2 | 1 のほか、同じ期間に生殖を不能にする手術または放射線の照射を受けた方<br>※母体保護や疾病の治療を目的とするなど、優生思想に基づくものではないことが明らかな手術などを受けた方は除きます        |

#### ◇相談支援センター

【電話】 0120-031-711（通話料無料）

受付時間 8:45 ~ 17:30（土日祝日除く）

【ファクシミリ】 011-232-4240

【メール】 hofuku.kodomo1@pref.hokkaido.lg.jp

【郵送】 ☎ 060-8588

北海道保健福祉部子ども政策企画課内  
相談支援センター

村公式 SNS でも、  
情報発信中！

フォロー & 「いいね」  
お願いします！



Instagram



Facebook





# イベントカレンダー

3月・4月

- 03/20(水・祝) YOKO-CUP 第36回音威子府ジュニアクロスカントリースキー大会  
(チセネシリクロスカントリースキーコース 競技開始 10:00)
- 03/24 (日) 音威富士スキー場クローズ  
(最終日営業時間 09:30-16:30 ※最終日は無料開放)
- 04/06 (土) 音威子府幼稚園 入園式  
(幼児センター 10:00-)
- 04/08 (月) 音威子府小・中学校 入学式  
(小中学校体育館 11:00-)
- 04/09 (火) 北海道おといねっぷ美術工芸高校 入学式  
(高校体育館 09:00-)
- 04/26 (金)  
- 10/31 (木) エコミュージアムおさしまセンター・高橋昭五郎彫刻の館 オープン  
(09:00-16:30 休館日:月曜 ※祝日の場合は翌日)

むらの人口  
(令和6年2月末現在)

607人  
(前月比 -21人)

うち男性 330人  
女性 277人  
世帯数 411戸

交通事故死ゼロ  
(令和6年2月末現在)

388日

## 今月の表紙

## ♪森の中からドラミング♪

[幼稚センターそりあそび会]  
2月 14日 (水)  
チーム対抗の的あて。空き缶に向かって、雪玉を  
ぽへい！チームの仲間も  
真剣に見守ります。

◇3月の別称である「弥生」とは、「ますます（植物が）  
生い茂る」という意味だそうです。北海道の気候的には少し早い表現ですが、日  
ごとに日没が遅くなってゆき、気温も暖かくなるこの  
時期らしい言葉だと感じます。※諸説あります

◇3月1日、おと高の卒業式にお邪魔してきました。生徒の皆さんや、保護者・教職員の皆さん  
の皆さんの笑顔や涙からも、努力や葛藤の大きさを感じました。様々なことを乗り越えてきた皆さんですから、新  
たなステージに移っても、春の植物のようにたくましく、そしてきれいな花を咲かせられると思います。皆さんとのこ  
と、ささやかながら遠くから応援していますよ!! (おっしー)



## 広報 おといねっぷ

令和6年3月号 第594号

◇印刷 (株)旭川アートプロセス  
◇発行・編集 北海道音威子府村役場  
〒098-2501 中川郡音威子府村字音威子府  
444番地1